

生育診断ほ調査結果と今後の管理

令和 8 (2026) 年 8 月 日

那須農業振興事務所

- ・ 出穂期：前年と比べ北部は 5 日遅く、南部は 1 日遅い
- ・ 出穂後 30 日以降の落水を徹底
- ・ 収穫適期は帯緑色籾率で判定し、刈り遅れに注意

1 生育診断ほ出穂期調査結果

調査地点		移植日	出穂期	成熟期 (R8 年産は予測値)
北部	R8 年産	5/10	8/3	9/16
	前年値	5/10	7/29	9/12
	平年値	5/10	8/2	9/15
南部	R8 年産	5/2	7/23	9/3
	前年値	5/2	7/22	9/2
	平年値	5/3	7/24	9/5

※調査地点：北部は那須町寺子丙、南部は那須塩原市一区町

平年値は R2～R6 の 5 か年から算出し、R8 年産の予測成熟期は、出穂期～成熟期の日数の平年値から算出

- ・ 出穂期は、前年と比べ北部は 5 日遅く、南部は 1 日遅い
- ・ 成熟期※は、北部で 9/16、南部で 9/3 と予測（8/10 現在）
- ※成熟期：帯緑色籾率が 5 % の時期（帯緑色籾率については裏面を参照）

2 今後の管理

(1) 水管理

- ・ 玄米の発達は出穂後約 30 日まで続く→落水は出穂後 30 日以降を目安に行う
- ・ 高温になると、胴割米や白未熟米の発生が多くなる傾向がある
→異常高温時は地温低下を目的とした水管理（可能な限りかけ流し、夕方かん水等）を行う



左：胴割粒（栃木県経営技術課）

右：白未熟粒（左から乳白粒、背白粒、腹白粒）（農水省）

(案)

(3) 収穫

- ・ 収穫適期は、必ず**帯緑色籾率***で判定する
※帯緑色籾率：不稔を除いた全籾に対する緑色籾の比率
通常、1日あたり2ポイント低下するとされる
- ・ 帯緑色籾率は必ずほ場内の複数箇所を確認するよう注意する
- ・ 収穫開始：10%頃、収穫終了：3%頃

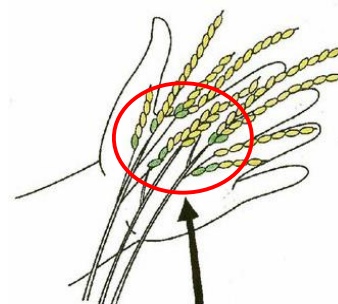
表面の調査結果に記載した
成熟期は、**帯緑色籾率が5%の時期**



帯緑色籾率 10%頃



帯緑色籾率 3%頃



帯緑色籾率の見方

平均的な生育箇所の穂を5～6本握り、うっすらと緑色した籾の割合で判断する。

【注意点】

今後も気温が高い確率が高いです（気象庁1か月予報、8/13発表）。

猛暑の場合は、刈り取り適期の判断が難しくなりやすいです。また、葉や枝梗は緑色でも籾はすでに黄色に変化し、収穫適期を過ぎている場合があります。

ほ場をよく観察し、刈り遅れることがないように注意しましょう！

刈り遅れは、胴割粒等の発生による外観品質の低下だけでなく、食味の低下にもつながります。

(参考) 今後の気象（関東甲信越地方1か月予報、8/13気象庁発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 08/15～09/14	10 30 60
		1週目 08/15～08/21	20 40 40
		2週目 08/22～08/28	10 20 70
		3～4週目 08/29～09/11	10 30 60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 08/15～09/14	30 40 30
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 08/15～09/14	30 40 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

向こう1か月の気象予報

- ・ 気温：高い確率60%
- ・ 降水量：平年並の確率40%
- ・ 日照時間：平年並の確率40%

気温が高いと、成熟期が早まる可能性が高いので
ほ場をよく確認して収穫しましょう

7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。

夏の農作業で、以下のことに気をつけましょう。



- ・ 日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。
- ・ こまめな休息、水分補給を行いましょう。
- ・ 体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう。